

清水書店とは何ぞや（再訂稿）

—須原鉄二との関連で—

—明治・大正警察史の一齣—

（令和 4（2022）年 8 月 10 日（水）現在）

（補正経緯）

HP 初出: 平成 23（2011）年 1 月 8 日（土）初稿作成

平成 23（2011）年 1 月 10 日（月）改訂稿作成

（表題を「清水書店とは何ぞ」から変更。一部補正、追加）

令和 4（2022）年 8 月 10 日（水）再訂稿作成

（レイアウトを全面変更した上で、一部補正、追加）

明治中期に創業し、明治末期から大正期には一流の法律書出版社¹になった清水書店²に関しては、先に、本 HP 別稿「内務省警視局御用御書物師須原鉄二とは誰ぞ（補正第十一次稿：平成 21（2009）年 3 月 22 日作成）—明治警察史の一齣—」（<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/subara.pdf>）中の「（追記 8）葉多野太兵衛創業の清水書店の件：平成 21（2009）年 1 月 30 日作成、平成 21（2009）年 2 月 3 日補正、平成 21（2009）年 3 月 21 日再補正」中で、その一端につき、以下のように記載したところである。なお、ここにいる葉多野太兵衛（1868～1926）は、元は清水太兵衛といい、明治 30 年頃、何か諸事情あって、「葉多野太兵衛（初代）」に改姓している人物である。

「（追記 3）、（追記 7）及び（追記 10）で言及した藤實久美子氏「信州中野山田庄左衛門家と畏三堂須原鉄二と旧藩公債証書情報」『近世・近代の地主経営と地域社会文化論—地域アーカイブズの総合的調査研究を通して—（研究成果中間報告書）』（人間文化研究機構 国文学研究資料館、平成 19（2007）年 3 月 30 日刊）135 頁は、大正期の一流の法律書専門出版書店であった清水書店（当時：神田区今川小路 2 丁目 47 番）の創業者葉多野太兵衛（1868

¹ 例えば、小川菊松（1888～1962）『出版興亡五十年』（誠光堂新光社、昭和 28 年 8 月 5 日刊。復刻版：平成 4 年 11 月刊）154、155 頁参照。

² 清水書店の創業は、（二代）葉多野太兵衛（本名：巖）編『追悼録』（清水書店、昭和 3 年 11 月 8 日刊）11～12 頁に、「都下須原屋書林に入り、師弟となり」、「明治 22 年 2 月我国立憲節の日をトし、君（太兵衛）も亦独立して清水書店と号し、当時の今川小路に居を定め専ら法律経済の書目の出版及販賣の業を創めたり」とあるように、明治 22（1889）年 2 月である。閉業年月については、詳細不明であるが、例えば、nacsis webcat、国会図書館所蔵目録等で見える限りでは、昭和 23（1948）年発行分が最後であるので、それ以降の時期と思われる。なお、HP 〈<http://d.hatena.ne.jp/spin-edition/200710>〉（「奥付検印紙日録」、2007.10-01）には、「山崎宏編著 東洋史上の古代日本、昭和 23 年 3 月 5 日刊、東京都千代田区神田神保町三丁目十三番地、合資会社 清水書店、発行者 代表社員 葉多野太兵衛」の紹介がある。（平成 23 年 1 月 10 日追加）

～1926) が明治十年代に須原鉄二の店に奉公していたことを誌している。これは、前記東京書籍商組合編『東京書籍商伝記集覧 日本書誌学大系 2』(青裳堂書店、昭和 53 年 4 月 30 日刊。東京書籍商組合編『東京書籍商組合史及組合員概歴』(大正元(1912)年 11 月刊)の影印版) 208 頁に依拠するものであるが、遺憾なことに、前に同書を見た時には見落としていた。ただ、同書は、葉多野太兵衛が「明治 15 年 4 月日本橋区西河岸町律書房須原鉄二ニ雇ハレ、勤続数年。」と誌しているが、須原鉄二の店の屋号は「畏三堂」であり、「律書房」は、例えば国会図書館近代デジタルライブラリー〈<http://kindai.ndl.go.jp/BIBibList.php>〉によれば、須原量坪³とかその後を継承した大塚禹吉の店で、年代とか所在地も違う。同書は、各店提供の資料に基づいて編纂されたものとのことであり、何故唐突に「律書房」のことが出てくるのかは、不明である。あるいは、単純に、「律書房」は、「書肆」の誤植かも知れない。

葉多野太兵衛については、(二代)葉多野太兵衛(本名:巖)編『追悼録』(清水書店、昭和 3 年 11 月 8 日刊)があり、初代葉多野太兵衛が日本橋の須原屋で修業したことについては、巻頭墓碑銘写真、7、11、21、23、44、85 頁に記載されているが、須原鉄二その人に言及したものはない。巻頭掲載の墓碑銘によれば、葉多野太兵衛の雅号は「畏三」というが、これは、おそらく、須原鉄二店屋号の「畏三堂」に依拠するものかと思われる。

なお、国立国会図書館近代デジタルライブラリー〈<http://kindai.ndl.go.jp/BIBibList.php>〉に、『芝居茶話』(編集人須原畏三(日本橋区西河岸町拾貳番地区)、出版人清水太兵衛(同区同町同番地須原鉄二方寄留)、明治 20 年 7 月 18 日出版御届)なるものが見られる。この「清水太兵衛」は、下記のように、おそらく「葉多野太兵衛」のことと思われるが、年代からして、葉多野太兵衛が須原鉄二の店に奉公していた時に、主人とともに刊行したものかと推測される。(この項:平成 21 年 3 月 21 日追加)

この他、葉多野太兵衛については、反町茂雄(1901～1991)編『紙魚の昔がたり 明治大正篇』(八木書店、平成 2 年 1 月 30 日刊) 211、212、213 頁⁴(同書は、『紙魚の昔がたり』〈訪書会、昭和 9 年 10 月 25 日刊。再版:臨川書店、昭和 53 年 10 月 25 日刊(129 頁)〉を改編したものである。)に、深沢良太郎氏(?～1950、81 歳)との対談が掲載されている。ここでは、清水書店の創業者としての「清水太兵衛(マ)」と「葉多野太兵衛」という二つの名前が記載されているが、おそらく同一人物かと思われる⁵。なお、鈴木徹造(1920～)『出版人物辞典 明治～平成 物故出版人』(出版ニュース社、平成 8 年 10 月 30 日刊) 241 頁参照。

³ 須原量坪につき本 HP 別稿「内務省警視局御用御書物師須原鉄二とは誰ぞ」註 12 参照。

〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatayoshi/subara.pdf>〉

⁴

〈http://books.google.co.jp/books?id=i54DI7RHK4kC&pg=PA211&lpg=PA211&dq=%E8%91%89%E5%A4%9A%E9%87%8E%E5%A4%AA%E5%85%B5%E8%A1%9B&source=bl&ots=39cVnkakZc&sig=mCL2Q3L3vpQ-wlM8MRlvBagLM0&hl=ja&ei=5s0qTd6WCpSmvQOKqY2fAg&sa=X&oi=book_result&ct=result&resnum=3&ved=0CB8Q6AEwAg#v=onepage&q=%E8%91%89%E5%A4%9A%E9%87%8E%E5%A4%AA%E5%85%B5%E8%A1%9B&f=false〉参照。(平成 23 年 1 月 10 日追加)

⁵ その後の検討によれば、ここにある「葉多野太兵衛」は、明治 22 年 2 月に清水書店を創業し明治 30 年頃に同書店の(初代)葉多野太兵衛となった清水太兵衛とはおそらく別人であるのではないかと思われる。然らば、この「葉多野太兵衛」とは一体誰なのかであるが、これについては、遺憾ながら、現時点では未だ不明である。今後の検討課題である。(平成 23 年 1 月 8 日追加、同 1 月 10 日一部補正。)

『東京古書組合五十年史』（発行者：井上周一郎、発行所：東京都古書籍商業協同組合、昭和49年12月15日刊）28、34頁は、せどり界の雄であった塚富（塚本富三郎）のことを、葉多野太兵衛の同僚として、「西河岸須鉄の出身」と記載している。（この部分：平成21年2月7日追加）

旧臘来、事情あって、清水書店及び同書店創業家の歴史について、改めて、さる識者より、多くの御教示を受けることがあった。同書店は、警察関係書籍も含め我が国法律書出版史上、大きな地歩を占めた書店でもあり、今後更に検討を深めていく必要があると思われることから、今回、独立項目とした次第である。御示教の程切にお願い申し上げるものである。

【附録】 明治警察史コーナーHP 項目一覧（抄）（令和4（2022）年8月10日追加）

- ・「法制史学者著作目録選」中「明治警察史コーナー」
<<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/Historian2003.htm>>
- ・「松井茂久『警官陶冶篇』研究史抄一本 HP 収載「PDF 版松井茂久『警官陶冶篇』検討資料」
<<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/matsui002.pdf>>
- ・「PDF 版松井茂久『警官陶冶篇』（増訂三版、明治25（1892）年2月18日刊）」
<<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/matsui001.pdf>>
- ・「大森鍾一『直興遺篋抄』一「長男仕官に就き与へたる訓戒の書」一」
<<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/omori001.pdf>>
- ・「川路大警視青山墓前の頌徳碑検討一斑（碑文全文、付句読点文、書下し文）一故陸軍少将兼大警視正五位勲二等川路君墓表編修副長官従五位重野安繹撰一 一明治警察史の一齣一」
<<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kawaji002.pdf>>
- ・「佐和正関係文献抄一明治警察史の一齣一」
<<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/sawatadashi.pdf>>
- ・「坂元純熙、國分友諒両氏の墓所について一中原英典氏のお問い合わせを追って一」
<<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/sakamoto001.pdf>>
- ・「国分友諒顕彰碑について一原田弘先生のお教えに接して一」
<<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kokubukenshoji.pdf>>
- ・「篠崎五郎関係資料抄一台湾出兵時の徴集隊指揮副長の一人一 一明治警察史の一齣一」
<<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/shinozaki.pdf>>
- ・「後藤松吉郎とは誰ぞ一明治警察史・日本統治下台湾警察史の一齣一」
<<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/goto001.pdf>>
- ・「裁判医学校乃至警視医学校関係文献一斑一明治警察史の一齣一」

- 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/saiban001.pdf>〉
- ・「『無冤録述』検討一斑—江戸期及び明治警察史の一齣—」
- 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/muenrokujutsu.pdf>〉
- ・「続・『無冤録述』の初歩的検討—江戸期及び明治警察史の一齣—」
- 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/muenrokujutsuzoku.pdf>〉
- ・「ヘーン大尉関係文献抄（再訂稿）」
- 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/hoen001.pdf>〉
- ・「明治中葉警官練習所訳官久松定弘等及び筆記者井土経重（霊山）検討一斑—明治警察史の一齣—」
- 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/yakkan.pdf>〉
- ・「岩瀬忠震関係文献抄（六訂稿）—向島・ヘーン大尉表功碑探訪余聞—」
- 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/iwase001.pdf>〉
- ・「内務省警視局御用御書物師須原鉄二とは誰ぞ—明治警察史の一齣—」
- 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/subara.pdf>〉
- ・「清水書店とは何ぞや—須原鉄二との関連で——明治・大正警察史の一齣—」（本稿）
- 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/shimizushoten.pdf>〉
- ・「須原鉄二と清水書店創業者葉多野太兵衛について—明治・大正期出版業史の一齣—」
- 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/hatano001.pdf>〉
- ・「警察監獄学会及び『警察監獄学会雑誌』検討一斑—明治警察史の一齣—」
- 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/kangokugakkai.pdf>〉
- ・「高橋雄豹博士著作目録（再訂稿）」
- 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/takahashi001.pdf>〉
- ・「田村豊氏著作目録」
- 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/tamura001.pdf>〉
- ・「中原英典氏明治警察史研究関係著作目録抄（参考）渡辺忠威氏警察史関係文献抄」
- 〈<https://home.hiroshima-u.ac.jp/tatyoshi/nakahara001.pdf>〉

【関連事項】（令和4年8月10日追加）

- ・法制史学会：〈<https://www.jalha.org/>〉
- ・国立国会図書館：〈<https://www.ndl.go.jp/>〉
- ・国立国会図書館デジタルコレクション 〈<https://dl.ndl.go.jp/>〉
- ・国立国会図書館個人向けデジタル化資料送信サービス（個人送信）（令和4（2022）年5月19日開始）
- 〈https://www.ndl.go.jp/jp/use/digital_transmission/individuals_index.html〉
- ・国立国会図書館次世代デジタルライブラリー（令和4（2022）年4月1日追加）
- 〈<https://lab.ndl.go.jp/service/tsugidigi/>〉

- CiNii: <https://ci.nii.ac.jp/> ⇒ <https://cir.nii.ac.jp/> (【[2022] 4/18 更新】CiNii Articles
の CiNii Research への統合について)、<https://ci.nii.ac.jp/books/>

(了)